

# axf:font-face で追加したフォントの Unicode 範囲を指定、およびフォントサイズを調整する

Antenna House Formatter V7.3 では、axf:font-face で追加フォントを指定する場合に、unicode-range 属性でこのフォントを適用する Unicode 範囲を指定することができます。また、size-adjust 属性でこのフォントのサイズを調整することができます。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:font-face](#)」をご参照ください。

## フォントの Unicode 範囲を指定する

unicode-range 属性でこのフォントを適用する Unicode 範囲を指定します。

```
<fo:declarations>
  <axf:font-face font-family="Shakespeare-Normal"
    src="url('../..'/img/ILShakeFest.ttf) format('truetype')" />
  <axf:font-face font-family="Shakespeare"
    src="url('../..'/img/ILShakeFest.ttf) format('truetype')"
    unicode-range="U+0040-0060" />
</s:declarations>
```

*font-family="Shakespeare-Normal,serif" :*  
*ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz.*

*font-family="Shakespeare,serif" :*  
*ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz.*

## フォントのサイズを変更する

日本語の文字は英語の大文字と同じくらいのため、アルファベットより大きく見えます。axf:font-face の size-adjust によって対象となるフォントのサイズを調整することができます。

```
<fo:declarations>
  <axf:font-face font-family="MySourceHanSans"
    src="url('../..'/img/SourceHanSans-Regular.otf) format('opentype')" />
  <axf:font-face font-family="MySourceHanSans-adjust"
    src="url('../..'/img/SourceHanSans-Regular.otf) format('opentype')"
    size-adjust="0.85" />
</s:declarations>
```

*font-family="Arial,MySourceHanSans" :* 日本語と英語が混在すると、Alphabet が小さく、日本語の文字が大きく見えます。日本語のフォントサイズを 10~15% 小さくすることで、英字とのバランスを取ることができます。

*font-family="Arial,MySourceHanSans-adjust" :* 日本語を少し小さくすると、日本語と Alphabet の大きさを揃えて見やすくなります。日本語のフォントサイズを 10~15% 小さくすることで、英字とのバランスを取ることができます。